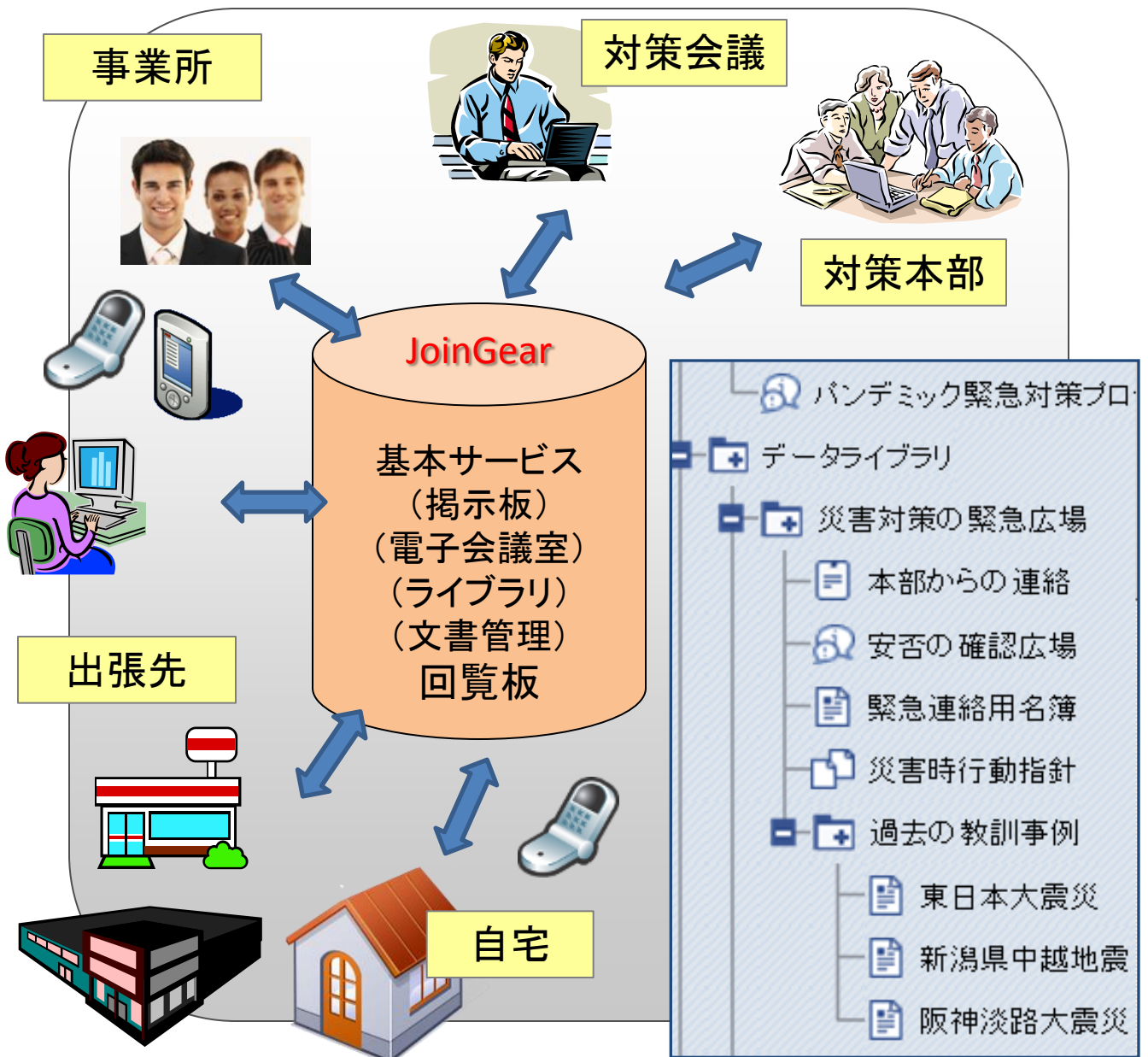


JoinGear活用:災害時の対策



● こんなことで、困っていませんか？

1. 災害対策をしたいが、自社設備では限度がある
2. 社外サービスを利用したいが、費用はかけられない
3. あらかじめ想定できる対策は、きっちりやりたい
4. 何が起こるか分からないので、臨機応変に対応したい
5. いざという時に慌てないように、普段から活用したい



JoinGear活用：災害時の対策

● JoinGear なら解決できます !!



<http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/joingear/>

- 1. 災害対策をしたいが、自社設備では限度がある**
 - 堅牢な社外センターを活用すれば、情報の伝達は可能です。
 - 災害に強いインターネット回線を利用すれば、安心できます。
 - PCや携帯、スマホなど、インターネット対応機器は豊富です。
 - 東日本大震災でも、公共ネットワークの有効性は実証済み。
- 2. 社外サービスを利用したいが、費用はかけられない**
 - 普段は50名で契約し、災害時だけは全社員に拡大することも可能。
 - 情報連絡は、掲示板などの基本サービスでOKです。
 - 回覧板なら、アンケートで人的被害や工場被災の詳細把握が可能。
- 3. あらかじめ想定できる対策は、きっちりやりたい**
 - いざという時に備えて、JoinGear管理者は複数任命できます。
 - 関係者だけが参加できる臨時の災害対策室で、議論できます。
 - 関係者の非常招集は、携帯やPCのアドレスを登録し、一斉配信。
 - 安否確認は、部門ごとの電子会議室に書込むと一目瞭然です。
 - 被害は携帯で撮影して管理者にメールで送り、掲示板に掲載。
- 4. 何が起こるか分からないので、臨機応変に対応したい**
 - 工場被災があれば、緊急の対策会議室をすぐに立上げられます。
 - 商品供給体制に不安があれば、関係者を限定して対策を協議。
 - 離れた場所から、携帯やスマホなどで参加することも可能です。
- 5. いざという時に慌てないように、普段から活用したい**
 - 投書箱や提案の場として活用していれば、いざという時に安心。
 - 年に1回防災の日には、全社員で練習をすると本番が楽です。

50名の月額費は40,000円、100名では55,000円とリーズナブル